


雪山講習報告書

講習報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名：硫黄岳 (2,760m、長野県茅野市)	
入山日：2024年1月27-28日 (土-日) 1泊2日 帰宅日：1月28日	
プラン担当者 正： 鈴木 副：	硫黄岳山頂
参 加 者 L：報：記：鈴木 小屋泊：鎌田、山崎、島崎 テン泊：東海林、金澤、久保、鈴木 男 4名、女 3名、計7名	
天候： 1/27 晴れ 無風 1/28 晴れ 無風 稜線中風	
1/27 (土)	6：15JR大宮駅西口 パチンコことぶき大宮西口店 (閉店中) 集合 中央道諏訪南IC下車 美濃戸口 10：50 発-12：00 美濃戸- (北沢) - 14：20 赤岳鉱泉着 (小屋・テント泊) 小屋泊手続き、テント設営後、アイゼン・ワカン歩行、ビーコン、ロープワーク、 支点確保等 講習実施 行動：3h30m+講習1h
1/28 (日)	各自起床-07：50 赤岳鉱泉発-10：30 硫黄岳- (稜線歩き) -12：00 赤岳鉱泉 (テント撤収) - (北沢) -14：30 美濃戸-15：45 美濃戸口着 中央道にて帰宅 行動：7h55m
荒天候時のエスケープルート： 小屋泊に切り替える。引き返す。	
装 備 と 食 糧	共同装備： 会5人テント、冬用ペグ、ビーコン3、ソンデ棒2、ロープ30m×2、 スノーソー、スノーバー、ツェルト4、クィックドロ-2 (以上鈴木準備) 共同食： 無し 車提供者： 久保、鈴木
	個人装備： ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、水、テルモス、 帽子 (目出帽)、冬グローブ (含インナー)、ゴーグル、ヘルメット、スパッツ、ストック、 ピッケル、12アイゼン、ワカン、チェーンスパイク、サブザック、ハーネス、 スリング120cm×2、環ピナ2、ATC、笛、スマホ (含バッテリー) (テント泊者) 個人テント (東海林)、スコップ、シュラフ、エアマット、銀マット、 ストープ (寒冷ガス)、クッカー、 個人食： 小屋泊者2食+予備食。テント泊者3食 1/27 夕食は4人で鍋 (食材鈴木)。
感 想	1/27 美濃戸口到着後の出発が1h20m遅くなり講習時間が気になる。林道は歩き始めて すぐに凍結路となりスパイクを装着する。赤岳鉱泉の到着は遅れを取り戻せず、講習時間は 1hほどしか取れなかった。よって一通りの説明に留まり実技は省略せざるを得ず。 1/28 今日1h50ほど出発が遅れる。アイゼン装着し阿弥陀岳へ向かう。ほぼ無風、 稜線では風が出てきたが、快晴のもと360°の眺望を楽しんだ。 両日とも身支度が緩慢で出発時間が大幅に遅れたことは各自反省の余地あり。